

あなただけの旅、見つけよう

みちのり

Take
FREE 2025
夏
ご自由にお持ちください



◎連載

ごちそうパレット
〈盛岡市〉

みちのり
のりもの図鑑
〈湘南モノレール〉

◎特集2

燃えよ！
夏祭り

◎特集1

佐渡 夏の涼感
アクティビティ

◎ツウさんぽ

会津伝統工芸の
モダンを感じる夏旅へ



人に優しく、自然に優しい郡山の名酒蔵

福島県郡山市に、私が大ファンの酒蔵があります。それが、1711年創業の『仁井田本家』さん。伝統ある蔵らしく生酛造りなど昔ながらの製法を重んじる一方、とても挑戦的な酒造りも行っています。私が一番すごいと思うのは、ワインでは一般的なドレーヌ化を、20年以上前から日本酒に取り入れたこと。ドレーヌ化とは原材料の栽培

から醸造、瓶詰めまでを自社で一貫して行うことで、ワインで言うブドウに当たる酒米を、農業や化学肥料は一切使わず自家栽培しています。蔵自ら「自然米」と呼ぶ、その自家栽培米で仕込まれる酒の味は、まさにナチュラル。すーっと体になじみ、優しさが伝わります。さらに、あまり米を削らずに造るのもこの蔵の特徴。口

日本酒ハンターが行く! 5 VOL.

Kitajima Kazumasa
北島和将

旅雑誌や情報誌のカメラマンとして10年以上活動。取材で訪れた全国各地で3000銘柄を超える酒に出会い、いつしか日本酒に魂をささげよう。2023年に自身の日本酒バー『酒魂』を東京・谷中にオープン。18~23時、月休。☎050-1808-1023



現在、タンクはホーローやステンレス製が主流ですが、2017年から木桶を復活。天然の酵母や乳酸菌が活発になり、奥行きのある複雑な味わいに。

スを減らし、米が本来持っているポテンシャルを生かしています。ムダなく体に良いものをという信念が、私の大好きなお酒を生んでいるのです。銘柄によって、味や香りのバリエーションの幅が広いことも特徴。どんな料理でも合わせられる銘柄が見つかるので、店でも常に数本置くようにしています。その中で今回取り上げるのは、この夏季にぴったりな「夏のおだやか」。夏は暑いので、例えばレモンサワーのような酸味が効いたものが飲みたくなりますよね。



週1回、要予約で約40分の蔵見学を実施(1人3300円)。酒母室や仕込み蔵、釜場などをメインに、最後は併設売店での試飲もあります。

このお酒がまさにそうで、マスカットやラムネを思わせる、フレッシュで爽やかな飲み口。蔵の微生物が生成する複雑で奥深いニュアンス、ふくよかで上品なうま味と酸の余韻があり、後味はすっきりとしてキレのある味わいです。キュウリやトマトなど夏野菜との相性もバッチリですよ。試飲付きの蔵見学に加え、売店も併設されています。個人的には蔵のオリジナルグッズがおすすめるので、ぜひ足を運んで、購入してみてくださいね。

仁井田本家

福島交通「郡山駅前」から「東山霊園」行き約27分の「仁井田本家入口」下車、徒歩7分。売店営業は10~17時、土・日・祝休。蔵見学は4~10月中旬は木曜、10月下旬~3月は土曜のいずれも14時~。☎024-955-2222



※「夏のおだやか」は季節限定商品のため、なくなり次第販売終了

INDEX

- 04 特集1
佐渡夏の涼感アクティビティー
- 13 特集2
燃えよ! 夏祭り

- 19 みちのりイチオシ夏イベント
- 24 みちのりエリアをめぐるツウさんぽ(会津若松市)
- 32 みちのりのりもの図鑑
- 34 ごちそうパレット 盛岡市
- 38 恋するご当地民芸 那須町

- 40 終点をたずねて 川尻海岸(茨城交通)
- 42 みみより NEWS & TOPICS



紹介物件の名称、営業時間、休み、値段の情報は変更が生じる場合があります。年末年始・大型連休については各施設・店舗にお問い合わせください。誌面に表記されている金額は税込みです。

伝統の上に新たなサービスを乗せて

「みちのり」グループには100年を超える歴史を持つ会社もあり、地元密着で皆さまの足となり支えてきました。でもそれだけではないんです。新しい路線・車両、無線LANやバス接近情報など、便利・快適・安全のための革新に日々取り組んでいます。遠くまで/近くでも、出張に/観光に、一人で/みんなで、これまでも/これからも。あなたのそばに新しいみちのりがあるかもしれません。



MICHINORI

- 岩手県北自動車【盛岡】
- 福島交通【福島】
- 会津乗合自動車【会津若松】
- 関東自動車【宇都宮】
- 茨城交通【水戸】
- 湘南モノレール【鎌倉】
- 佐渡汽船【佐渡】

みちのりグループの高速バスについて詳細はこちら





ウミホタルは二枚貝のような透明な殻を持ち、体長は約3mm。青い発光に息をのむ。開催日はサドベンチャー!のウェブサイトで確認を。

難度低 ウミホタル観察会

“海の天の川”を思わせる、幻想的な青い光に包まれる

水のきれいな浅い海に生息する小型甲殻類、ウミホタル。普段は海の砂中などで生活している夜行性だ。できるだけ負荷をかけない方法で採取し、青い幻想的な発光を、新月近くで月の光がない暗い夜に観察する。

サドベンチャー!(佐渡観光交流機構企画・実施)
真野漁港まで小木港から車で約30分。
両津港から車で約40分。19時50分~21時(事前予約制。
予約はサドベンチャー!のホームページから)、不定休。
2000円。☎0259-58-7285(平日8時30分~17時30分)

基本的な体験は、簡単なレクチャーを含み、所要約1時間30分~2時間。エリアは、中心市街地に近い遠浅な砂浜の佐和田海岸や尖閣湾に近い達者海岸、静かな内海の景勝地の矢島・経島(ナイトSUP)など。愛犬と一緒に海水に浮かべたボートに乗る「ドッグSUP」もある。



雄大な自然に抱かれる佐渡は、海に山に湖と島内の全方位的のアクティビティーも多種多彩。日中のみならず、夕暮れ時や夜間に楽しめるものも登場してきた。汗をかいた後にうれしいひんやりスイーツも紹介します。



島内の牧場から届く新鮮な生乳のソフトクリーム

佐渡乳業直売所 みるく・ぽっと (中興)

佐渡で育つ乳牛の生乳で、牛乳やバターなどを製造販売する佐渡乳業の直売所。ミルクソフトクリームやここでしか味わえない濃厚なカマンベールソフトとコーヒーストを隔月交互に販売。●両津港から車で約20分。またはバス(本線)約26分の「佐渡病院」下車、徒歩6分。小木港から車で約45分。10~16時、無休。☎0259-63-3151

おすすめひんやりスイーツ

限りなくフレッシュな味を追求するジェラート専門店

マッテラート (新穂)

レモンやイチゴ、夏はプラムなど、地産の旬の熟した果物を使う。「生に負けないくらいフレッシュ!」と言われるほど、濃密になる製法を採用。●両津港から車で約15分。またはバス(南線)約15分の「青木」下車、徒歩1分。小木港から車で約45分。11~16時、月・火休(8月は無休)。☎0259-58-7027



爽快な海原に、雄大な夕景。夜の探検気分まで楽しめる!

地元の人々を熟知したインストラクターが、天候やレベルに合わせた海域と内容をナビゲート。透明度抜群の海で、日常のストレスを吹き飛ばせる。「夕日SUP」と、ライトアップしながら探検する「ナイトSUP」も人気急上昇中。

SADO_SUP
集合場所まで現地集合。
時間は事前予約制で応相談(当日対応可)、不定休。7500円~。
☎090-3640-5173

難度中 SUP

おすすめ
ひんやり
スイーツ



佐渡の美味と流れる時間を
存分に味わえる古民家カフェ

カフェ日和山 (小木)

島内産のフルーツをたっぷり盛り込むパフェ1400円~をぜひ。夏季にはモモやブルーベリーなどが登場する。自家製シロップでつくるクリームソーダ650円~も涼やかに喉を潤してくれる。店内には、新潟の「北書店」の出張店「南書店」を併設。●小木港から徒歩10分、両津港から車で約1時間。12~16時、不定休。
☎0259・86・3550



「猫とロックと甘いもの」が
テーマの一軒家カフェ

のらねこ (小木)

キウイや桃、イチジクに柿などの季節のフルーツ、それも一年の半分は自家栽培のものを使うパフェ1200円~(ミニは800円~)やドリンクを提供。アイスクリームやソースも自家製で、ピュアなおいさが口いっぱい! ●小木港から徒歩15分。両津港から車で約1時間5分。11時30分~16時30分、不定休(Instagramで要確認)。☎なし



登録有形文化財指定
木造5階建ての元旅館に誕生

喜八屋グローカフェ (小木)

「佐渡の美味しいものを紹介したい」と、店主の石原まさみさんは佐渡産食材を積極的に用いる。卵黄を使わないふわふわの白いシフォンケーキ600円は、自家焙煎のコーヒーと佐渡牛乳のアイスミルクコーヒー550円とご一緒に。●小木港から徒歩5分。両津港から車で約1時間。10時30分~17時、月・火休。
☎090・1031・7835

小木ダイビングセンター

小木港から車で約10分。
またはバス(小木線)約9分の
「宿根木新田」下車、徒歩9分。
両津港から車で約1時間15分。
8時30分~17時(事前予約制)。
不定休。7700円~。
☎0259・86・2368



小木海岸琴浦の青の洞窟は、昼も夜もドラマチックな雰囲気。初心者や子どもも簡単に乗れる。着替えを含めて所要約3時間。

難度
中

シーカヤック

SEA KAYAK

“青の洞窟”や静かな入り江を ゆったり海上さんぽ

ジオパークに認定されている小木半島の海からの見晴らしを堪能。溶岩でできた砂利の上での昼寝や溶岩浴も楽しめる。プライベートビーチのような虫谷コース、小木海中公園に指定されたダイナミックな景観の大間コース、さらにナイトカヤックコースもあり、いずれも“青の洞窟”と呼ばれる竜王洞を經由。

難度
?

たらい舟

佐渡名物のたらい舟は 三者三様の特徴がある

複雑な入り江の沿岸漁業用に考案されたたらい舟。景観抜群の「矢島体験交流館」、女性船頭が巧みに操る「力屋観光汽船」、夕方や夜も乗れる「宿根木・はんぎり」の3カ所がある。さて、どれに乗る?

矢島体験交流館

小木港から車で約6分。
またはバス(小木線)約6分の
「矢島遊園前」下車、徒歩7分。
両津港から車で約1時間。8時
~16時30分(受付終了)、
無休(11~3月休)、700円。
☎0259・86・2992

力屋観光汽船

小木港から徒歩5分。
両津港から車で約1時間。
8時30分~17時(時期
により異なる)、無休。
700円。
☎0259・86・3153

宿根木・はんぎり

小木港から車で約7分。
またはバス(小木線)約11分
の「宿根木」下車、徒歩1分。
両津港から車で約1時間。
9~17時、不定休(11月下旬
~3月中旬休)。1000円~。
☎090・4835・5446



江戸時代後期に考案されたたらい舟。3カ所で唯一、外海に出るロングコースがある「宿根木・はんぎり」の様子。舟は全て社長の手作り。

TREKKING

難度
低~高

トレッキング

初心者にも易しいコースでも
見どころは満載!

ドンデン山(尻立山)に広がるドンデン高原・周回ルートは、距離3.5km、約2時間30分の手軽なコース。高低差は小さいが、花の種類が豊富で、縦走路では左右に日本海を一望でき、歩きがよい。

佐渡アウトドア
ベース

両津港から徒歩3分。
小木港から車で約1時間。
9~18時(事前予約制)、
不定休。ガイド料7000円~。
☎0259・58・8081



ガレ山を越えると、
頂上はもうすぐ!
絶景を見晴らして
大きな深呼吸をしよう。

SWIMMING

難度
中

海水浴



外海府の海を満喫できる
絶好の場。外国人観光客
向けガイドブック『ミシュラン・グリーン
ガイド・ジャポン』に二つ星で掲載される。

STARRY

難度
中

星空観察

山から夜空を見上げれば
天の川に夏の大三角

ドンデン山からなら、頭上には満天に星が瞬き、望遠鏡がなくとも天の川や星座を観測しやすい。地元有志の協力で、星空観賞会を不定期で開催(詳細日時は公式サイトなどで発信)。

ドンデン高原ロッジ自然リゾート

両津港から車で約50分、小木港から車で約1時間30分。
地元有志との星空観賞会実施日は公式ホームページ、SNSで発信。
無料。宿はIN15時・OUT10時、2名1室・1泊2食付きで1人1万4300円~。
☎0259・23・2161



街灯に邪魔されない
無垢な光がきらめく。
星空観賞会は宿泊者でなくても参加が可能。

感動の透明度を誇る
ダイナミックな海水浴場

2匹の亀に見える島「ニツ亀」のそびえ立つ岸壁やダイナミックな景観の間近に広がる海水浴場。「日本の快水浴場100選」に選出されており、透明度は佐渡随一といわれる。海中の小魚をのぞくのもお楽しみ。

ニツ亀海水浴場

両津港から車で約1時間。
小木港から車で約2時間。
利用可能期間は7月下旬
~8月中旬。監視員常駐
時間は10~17時。



海中を眺めながら
絶景の海岸美を満喫

約3kmの海岸に広がる5つの小さな湾の総称・尖閣湾。第5景にある観光施設「揚島遊園」から発着する観光船で、湾内の景観を満喫できる。ガラス張りの床から海中の景色と魚群を眺めるのも一興だ。



船内中央部の床はガラス張りになっていて、海中の景色や魚群をのぞける。乗り場でスナック菓子を販売。遊覧中にウミネコと戯れられる。

おすすめ
ひんやり
スイーツ



達者海岸を見晴らす
絶好のロケーション

海小屋(達者)

ミルクゼリーにソフトクリームを載せた佐渡塩ミルク700円や、かき氷700円を提供。青いバターライリーの自家製シロップはレモンを搾ると紫色に! 一棟貸しの宿泊施設も併設。●両津港から車で約55分。小木港から車で約1時間5分。11時30分~15時(日は12時30分~)。6月は水・木、7・8月は木休(変動あり)。☎0259・67・7380



【ACCESS】佐渡へは佐渡汽船「新潟~両津航路」と「直江津~小木航路」が運航。自転車を持ち込んで乗船も可能。詳しくは佐渡汽船のホームページを確認を。https://www.sadokisen.co.jp/ ※佐渡汽船の乗船代にも使える「佐渡旅行クーポン券」のお申し込みは佐渡汽船ふるさと納税サイト【ふる佐渡】へ。https://furusato.sadokisen.com/

おすすめ
ひんやり
スイーツ



佐渡の人気者、コブダイ&トキの
焼き菓子をトッピング

caMoco café 湖 ASOBI (原黒)

佐渡最大の湖、加茂湖のほとりに立つ、築70年の船小屋を改装して誕生したダイニングカフェ。広々とした店内の大きな窓の先に続く湖面とつながっているような感覚に。caMocoパフェ1210円。●両津港から車で約5分。またはバス(南線)約5分の「椎崎温泉入口」下車すぐ。小木港から車で約1時間。11時30分~16時・18~21時、水・木休。☎0259・67・7467

両津港の食堂「しおさい」で
食べられる!



佐渡汽船では、「一風堂」を運営する力の源ホールディングス、地域商社のブリッジにいがたと連携し、新名物を発表。エビの頭や殻を香ばしく炒めただしと鶏のダブルスープに特製味噌だれを合わせた「佐渡濃厚海老ラーメン」だ。トッピングには南蛮海老の素揚げやキクラゲなど佐渡の食材をぜいたくに使い、あん掛けスタイルに。

単品1250円。佐渡産コシヒカリのご飯セット1400円。

難度
低

海中透視船

尖閣湾揚島遊園

両津港から車で約1時間。
小木港から車で約1時間5分。
8時40分~17時30分、9月まで無休。
入場乗船1600円。☎0259・75・2311



SADOTIMES

佐渡の特別な時間を提案する新しい旅案内のウェブサイト

「さどタイムス」誕生!



5つの目的から旅先を探る 佐渡の楽しみ方 CONTENTS

学ぶ

伝統芸能の鬼太鼓など、佐渡の文化に触れながら学ぼう。



訪れる

四季折々の佐渡の絶景スポットを訪ねて心に焼き付けよう。



食べる

海に囲まれた佐渡島自慢の新鮮な海の幸をぜいたくに堪能。



体験する

澄んだ海での海水浴、伝統の焼き物づくりなど感動体験を!



買う

5つの酒蔵が醸す地酒など佐渡の美味を連れて帰ろう。



佐渡には、1万年以上にわたる歴史が息づく。かつて多くの人々がこの地にたどり着き、生活や文化を紡いできた。あなたが佐渡へ旅をしようと思いついたら、この島で過ごす特別な時間を何をするだろうか……?
この春登場したウェブサイト「さどタイムス」では、佐渡での特別な時間を過ごせるように地域情報や観光コンテンツを提案している。「目的」や「エリア」「四季・イベント」などから、自分に合った旅先を探ることができる。
心に残る体験を重ね、思い返してなお、また訪れたい島となるに違いない。

<https://sadotimes.sadokisen.co.jp/>

4つのエリアから旅先を探る 佐渡を旅する CONTENTS



両津……両津港のある佐渡の玄関口。漁師町の風情や豊かな自然を満喫。

相川……金山、銀山で栄えた歴史と浪漫が薫る町。今も往時の名残りが多数。

国中……広い田んぼや農作地など穏やかな風景が広がる島の中心部。

南佐渡……北前船で栄えた歴史と文化が色濃く、古い町並みも魅力的。

8/2-7

燃えよ!

夏祭り



青森県
青森市

青森ねぶた祭

血潮たぎる 真夏の火まつり

武者や神話などをモチーフにした巨大な灯籠「ねぶた」を派手に揺らしながら、青森市中を練り歩く国の重要無形民俗文化財指定の伝統行事。大型ねぶたは審査によって各賞に選ばれ、最終日の7日は大賞に輝いたねぶたを先頭に順次運行し、夜の海上運行と盛大な花火大会でフィナーレを迎える。



●青森駅から徒歩10分。☎017・723・7211(青森観光コンベンション協会)

ここにも注目!



ねぶた運行を盛り上げるのが、「ラッセラー、ラッセラー」の掛け声に合わせて乱舞する跳人(ハネト)と軽快なおはやし。衣装をレンタルすれば、自由に参加することができる。

暑い季節だからこそ、熱気に満ちあふれる夏祭りへ。山車の巡行や流し踊り、パレードやおみこし行列といった各地の特色豊かな伝統行事やイベントに参加しよう!

茨城県
水戸市

水戸黄門まつり

名君・光圀公をたたえる一大イベント

国内最高峰の花火師による「水戸偕楽園花火大会」で開幕する水戸の夏の風物詩。本祭では、日本三大産地の一つである水戸のちょうちんを掲げる「水戸黄門提灯行列」や山車巡行、みこし連合渡御、水戸黄門カーニバルなど、見どころ盛りだくさんだ。

●花火大会は水戸駅から徒歩20分。本祭は水戸駅すぐ。☎029・224・0441(水戸黄門まつり実行委員会)



ここにも注目!



高さ4m、重さ3tという市民みこしとしては国内最大級の大きさを誇る「ふるさとみこし」は、まさに迫力満点。今年は、祭りを象徴するスポットとして、水戸市民会館脇に展示予定。

花火大会

本祭

7/26 8/2・3

7/31
-8/4



画像提供:(一財) VISITはちのへ

絢爛豪華な山車が大通りを運行

「龍(おがみ)神社」「長者山新羅(ちょうじゃさんしんら)神社」「神明宮(しんめいぐう)」の三社による合同例祭で、2016年にユネスコ無形文化遺産に登録。神話や歌舞伎などを題材に趣向を凝らして製作される27台の山車は、日本一の山車祭りと呼ばれるほどの圧倒的な造形美で観客を魅了する。



●南部バス「八戸駅1番のりば」から中心街方面行き約25分の「中心街ターミナル」下車(日程により交通規制の時間帯あり)。☎0178・70・1110(一般財団法人VISITはちのへ)

ここにも注目!



8月1日・3日の行列では伝統芸能も披露され、「大神楽」の獅子舞が各社の先頭に立って道を払い清めながら歩く。それに続き、山伏の伝承が由来の「法霊神楽」や火伏せの「虎舞」などが連なる。

新潟県
佐渡市
世界とつながる
音楽の祭典

佐渡に拠点を置く太鼓芸能集団「鼓童」が、1988年から開催しているフェスティバル。3夜連続で開催されるライブでは、多彩なアーティストのパフォーマンスを楽しむことができる。気軽に参加できるワークショップやイベント限定のグルメなども用意されている。



8/22-24



福島県
南会津町
会津
田島祇園祭

田園の緑に映える
あでやかな花嫁行列

御堂屋制度によって保存されてきた国の重要無形民俗文化財指定の祭り。23日の本祭早朝、花嫁衣装をまとった女性たちが列を成して神社へ向かう「七行器(ななほかい)行列」は実に幻想的。大屋台で上演される子供歌舞伎も、見応え十分だ。

●会津田島駅から徒歩1分。☎0241・62・3000(南会津町観光物産協会)



栃木県
宇都宮市
ふるさと宮まつり

8/2・3

地元愛に
満ちた市民の夏祭り

栃木県最大級の規模を誇る祭りで、50基を超えるみこしが大通りを練り歩く。木遣り保存会によるはしご乗りの演舞や和太鼓の競演、たくさんの踊り子が舞う宮っ子よさこい、若者たちのダンスパフォーマンスなど、どれも胸躍る催しばかりだ。

●宇都宮駅から徒歩10分。☎028・643・8331(ふるさと宮まつり開催委員会事務局)



マーチのリズムに合わせてパレード。



新潟県
佐渡市
アース・セレブレーション



8/22-24

この夏イチオシ!

無印良品 直江津

ひんやりボディミスト
(150mL・990円)

暑い夏の外出に最適な天然由来成分*100%にこだわったボディミストです。清涼成分としてメントールを配合し、すっきり爽快なトラスの香りで汗ばんだ肌をリフレッシュできます。

*天然成分を化学的に反応させた成分を含みます。合成香料無添加/無着色/無鉱物油/パラベンフリー/シリコンフリー/アルコール配合(清涼成分)



店舗までなかなか足を運びづらい地域にお住まいの方々に、移動販売バスを運行しています。8月23日(土)のアースセレブレーションに合わせて、佐渡へ渡ります。



佐渡の南の玄関口・小木港に併設するお土産と食事の店「小木家」に無印良品の販売コーナーが併設されています。生活に必要な食品や日用品や雑貨を中心に取りそろえております。

●「無印良品 直江津」へは、直江津駅から徒歩10分。10~20時、無休。商品のお問い合わせ、移動販売バスおよび小木家での事前注文やお取り寄せ希望は☎025・520・7591までご連絡ください。

福島県
福島市
福島わらじまつり



画像提供:福島わらじまつり実行委員会

8/1-3

健脚と旅の
安全を願う大わらじ

「わらのわ」を携え踊る「わらじおどり」。

長さ12mもの巨大なわらじを大勢で担いで福島駅前を練り歩き、信夫山の羽黒神社に奉納する。古関裕而作曲のわらじ音頭で踊る「わらじおどり」なども行われる。

●福島駅から徒歩5分。☎024・572・7118(福島わらじまつり実行委員会)



岩手県
盛岡市
盛岡さんさ踊り

優雅な所作で観客を魅了する群舞

岩手県を代表する夏祭り。盛岡市のメインストリートを舞台に、踊り手、笛、太鼓合わせて2万人による群舞が繰り広げられる。2014年には、3437人の和太鼓同時演奏を達成してギネス世界記録に認定され、世界一の太鼓の祭りとして知られるようになった。

ミスさんさ踊りの華麗な演舞。



写真協力:盛岡さんさ踊り実行委員会



8/1-4



8/23 (福島県須賀川市)

③ 須賀川市 釈迦堂川 花火大会

須賀川市民スポーツ広場に会場が設けられ、有名花火師が製作した尺玉の競演や合唱とコラボレーションした音楽創作花火など、演出に凝った福島県内最大規模の花火が楽しめる。●福島交通「須賀川駅前」から市内西循環バスで約24分の「西川」下車、徒歩4分。または須賀川駅から徒歩10分。☎0248・88・9144(須賀川市釈迦堂川花火大会実行委員会)



8/14 (福島県郡山市)

② あさか野夏まつり 花火大会

「AGCエレクトロニクス郡山カルチャーパーク」近辺を会場に、田園風景の中でスターマインなど約7000発の花火を打ち上げる。●福島交通「郡山駅前」から栄町経由柴宮団地、市役所経由免許センター、山根経由免許センター行き約25分～約35分の「柴宮団地」下車、徒歩20分。☎024・946・2068(あさか野夏まつり実行委員会事務局)



※夏まつりは7/26・27開催。 ※日付変更の場合あり。

8/10 (岩手県宮古市)

① 宮古夏まつり・海上花火大会

太鼓の演奏や歌謡ショー、郷土芸能などのステージイベントなどが行われる夏まつり。8月10日の夜に、鎮魂と復興の祈りを込めた花火を打ち上げる。●岩手県北バス「宮古駅前3番のりば」から「奥浄土ヶ浜」行き約8分の「シートピアなあと」下車、徒歩3分。☎0193・62・3233(宮古夏祭協賛会事務局)

①

夜空で花開く 大輪の打ち上げ花火。

夜風に涼みながら眺める打ち上げ花火は、
はかなくも美しい一瞬の芸術。



7/27 (新潟県佐渡市)

⑧ 鉦山祭花火大会

金山労働者の慰労と、鉦山の繁栄を祈願するお祭りのフィナーレ。前日に大山祇(おおやまずみ)神社の神事式やおけき流しなどを行った後、相川浜公園を会場にスターマインを中心とした約500発の花火が打ち上げられる。●佐渡汽船「両津港」から車で約50分。「小木港」から車で約1時間。☎0259・74・3515(鉦山祭実行委員会事務局)

⑧

④

②

③

⑦

⑥

⑤



8/10 (福島県柳津町)

④ 霊まつり流灯花火大会

圓藏寺菊光堂で施餓鬼会を催した後、稚児たちが灯籠を持って魚淵まで行列。夕暮れ時に灯籠を川に流したのを合図に、先祖を慰霊する盛大な花火が打ち上げられる。●会津バス「柳津駅前」から「柳津ふれあい館」行き約4分の「柳津虚空蔵下」下車。☎0241・42・2346(一般社団法人会津柳津観光物産協会)

みたま



8/9 (栃木県日光市)

⑦ 日光花火大会

今市と日光で行われていた2つの花火大会を統合。日光だいや川公園・丸山公園を会場に、大小約5000発の花火が夜空を彩り、観客の目を魅了させる。●関東自動車「宇都宮駅西口」から「日光東照宮」行き約1時間6分の「野口十字」下車、徒歩11分。☎0288・30・1171(日光花火大会実行委員会)



7/26 (栃木県真岡市)

⑥ 真岡市夏祭大花火大会

真岡市夏まつり荒神祭の中日に開催される花火大会。みこしを担いだ男たちが五行川を渡る川渡御の後、90分にわたって約2万発の花火が打ち上げられる。●関東自動車「石橋駅」から「真岡営業所」行き約33分の「真岡市役所前」下車、徒歩8分。☎0285・83・8135(真岡市商工観光課)



8/10 (茨城県東海村)

⑤ 東海まつり花火大会

47回目の今年は、東海村発足70周年を記念して開催。久慈川河川敷運動場を会場に70周年にちなんだ約7000発もの打ち上げ花火が夜空を彩る。●東海駅から会場までシャトルバス運行予定(詳しくは公式ホームページでご確認ください)。☎029・287・0855(東海まつり実行委員会事務局)

みちのりイチオシ
夏イベント



鈴の音を響かせ農用馬が行進！

●6月14日
チャグチャグ馬コ

〔岩手県滝沢市・鬼越蒼前神社～盛岡市・盛岡八幡宮〕

“チャグチャグ”と鈴の音を鳴らしながら華やかな装束をまとった約60頭の農用馬が、鬼越蒼前神社から盛岡八幡宮までの約14kmを練り歩く。馬への日頃の勤労感謝を目的とした伝統行事で、その晴れ姿を多くの見物客が見守る。

☎019・613・8391（盛岡市観光課）

📍アクセス 岩手県北バス「盛岡駅前（東口6番のりば）」から「盛岡バスター」行き約15分の終点下車、徒歩10分（盛岡八幡宮）



📍アクセス 茨城交通「秋葉原駅」から高速バス「関東やきものライナー」約2時間30分の「益子駅」下車、徒歩10分

関東三大奇祭の御神酒頂戴式も！

●7月23～25日
益子祇園祭

〔栃木県益子町・鹿島神社ほか〕

鹿島神社末社の八坂神社の祭礼で、氏子地区5町会が当番制で行う。24日の当番引き継ぎの儀式「御神酒頂戴式」では、受け当番町の酒豪が大杯に注がれた熱燗を飲み干す。最終日の25日22時から各町会の屋台、出車が集結する「御上覧」神事を開催。

☎0285・72・6221（鹿島神社）



佐渡の郷土芸能が家々を回る

●8月30・31日
小木港祭り

〔新潟県佐渡市・小木町一円〕

北前船時代に造営した神輿の渡御をはじめ、小獅子舞、大獅子舞、鬼太鼓などの郷土芸能が門付けして回る。30日には三尺玉やスターメインなどの大型花火が小木港の夜空を彩る花火大会（荒天の場合は9月1日まで順延）を開催。

☎0259・86・2216（小木港祭り実行委員会）

📍アクセス 佐渡汽船「小木港」から徒歩10分

舞台装置が変化する仕掛けに注目！

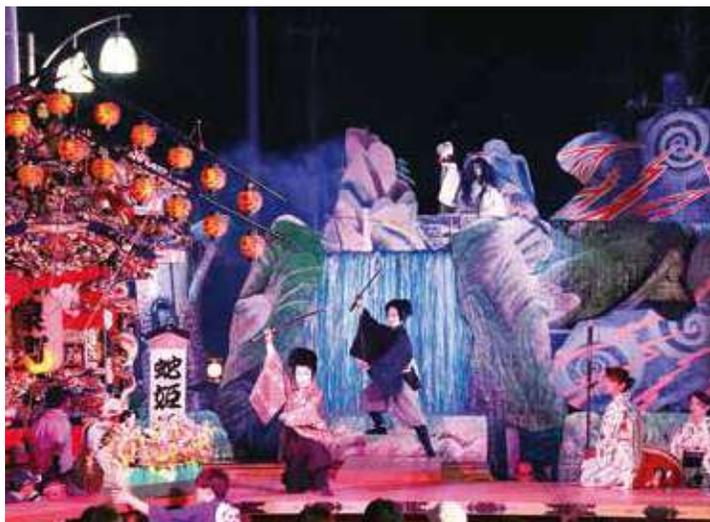
●7月25～27日

山あげ祭

[栃木県那須烏山市・烏山市街地]

豪華絢爛な移動式野外歌舞伎が路上で繰り広げられる。その舞台裏では当番町(泉町)の若衆が舞台装置を組み立て、劇中では一糸乱れぬ団体行動で舞台装置を変化させていく。高さ10mもの「はりか山」を人力で上げることが名前の由来。☎0287・83・1115(山あげ祭実行委員会)

アクセス 烏山駅から、徒歩5～30分(公演場所によって異なる)



豪華な本社神輿が市内を練り歩く

●8月3日(予定)

八坂神社祇園祭

[茨城県笠間市・笠間稲荷神社門前通りほか]

約750年前の鎌倉時代に笠間領民の難病削除を祈願し、領内繁栄のため夏季に祇園天王祭を行ったのがルーツ。当日は八坂神社の本社神輿や子ども神輿が市内を練り歩く。漆塗り、金箔張りで風格をたたえた豪華な神輿は一見の価値あり。☎0296・77・1101(笠間市観光課)

アクセス 茨城交通「秋葉原駅」から高速バス「関東やきものライナー」約1時間48分の「笠間稲荷神社入口」下車、徒歩12分(八坂神社)



多彩な七夕飾りが夜風に揺らめく

●7月18～20日

第73回八戸七夕まつり

[青森県八戸市・八戸市中心街]

1950年代から続く八戸の夏の風物詩。期間中は三日町と十三日町のメイン通りが歩行者天国になり、市民が製作した色鮮やかな七夕飾りが頭上をにぎわす。18日の17時30分から「第55回八戸小唄流し踊り」も開催。☎0178・20・9272(八戸商工会議所地域振興課)

アクセス 本八戸駅から徒歩10分



大規模な踊り流しが見もの

●8月7～9日

第61回郡山うねめまつり

[福島県郡山市・郡山駅前大通りほか]

奈良時代に安積の里(現在の郡山市)を守るために天皇に仕えた采女(うねめ)に感謝して踊る市内最大の祭り。8・9日にはメイン行事の「うねめ踊り流し」が行われる。うねめ音頭に合わせて2日間で4000人以上が踊る姿は圧巻。☎024・921・2610(郡山うねめまつり実行委員会)

アクセス 郡山駅から徒歩2分



宿場町で時代行列が厳かに

●7月2日

大内宿半夏まつり

[福島県下郷町・大内宿]

後白河天皇の第2皇子・高倉以仁王を祀った高倉神社の祭礼。神社での神事後、天狗を先頭に黒烏帽子を被った白装束姿の男衆が神輿を担いで家内安全や五穀豊穡を祈願しながら、茅葺き屋根の美しい集落内を肅々と練り歩く。☎0241・68・3611(大内宿観光案内所)

アクセス 湯野上温泉駅から車で15分



暮らしを彩る

会津 伝統工芸の

モダンを感じる夏旅へ

かつて城下町として栄えた福島県会津。この地では、農閑期の手仕事から生まれた器や織物、玩具が、使うための道具」として広まった。それらは伝統工芸として現代に受け継がれ、今も暮らしの中に生きている。会津の人々は、どのように伝統工芸を生活の中に根付かせたのだろうか。会津の伝統工芸の世界に新風を巻き起こしている窯元や店舗を巡り、伝統を受け継ぐ人々の思いや地域との関わりをひもといてみよう。



シルクスクリーンの高絵を施した新しいタイプの会津漆器。下絵は若手デザイナーが担当している。



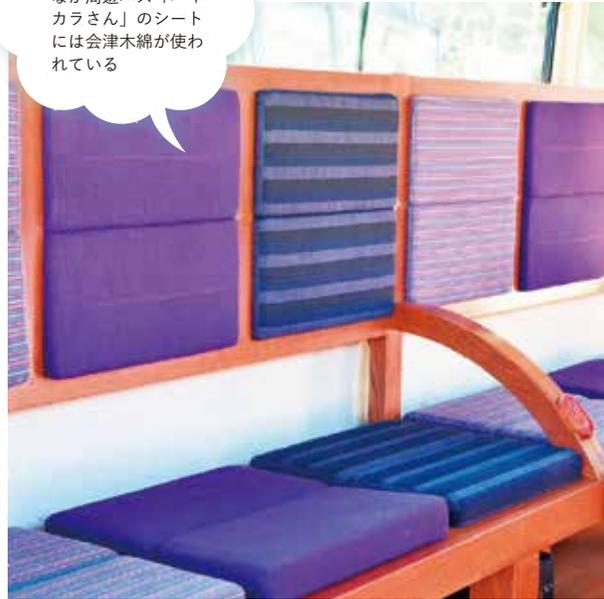
市街地のレトロな街並みには、伝統工芸品を扱う店が風景の一部として溶け込んでいる。



会津慶山焼の店舗に併設された工房では、職人の手仕事を間近で見学することができる。



「あかべえ(写真右)」「赤べこ(写真左)」の絵付け体験は会津の伝統工芸を伝える役割も担う。



会津の伝統工芸に出会うのに便利なまちなか周遊バス「ハイカラさん」のシートには会津木綿が使われている。



ピアノの鍵盤を模した漆器プレート。食卓で使うと、特別なひとときを演出してくれそう。

AIZUWAKAMATSU



作品を通して、日本の風土が育んできた伝統に触れてもらえたらうれしいです

国内外で高く評価される
唯一無二の作品

宗像窯

300年近い歴史を誇る会津本郷焼の老舗窯元。地元・白鳳山から採れる鉄分を含んだ的場陶土と自然灰を使った釉薬を使い、会津の風土を映す器作りを続けてきた。200年前から使用している6段構造の登り窯で焼成することもある。

●会津バス「若松駅前バスターミナル」から「本郷」行き約40分の「本郷局前」下車、徒歩2分。9～17時(12～3月は16時まで)、水休。☎0242・56・2174

利訓さんが白と緑の釉薬を重ねて生み出した「翠彩釉(すいさいゆう)」などの作品。白と緑のグラデーションが会津の自然の情景を表現している。



展示場では作品の販売も行っている。会津の生活や風土を背景に制作された「にしん鉢」もチェックしたい。

鑑賞用の美術工芸ではなく、日々の食卓でこそ輝く器作りを目指しています



夏にぴったりの切立型ビールカップ。内側に釉薬を掛けないため、泡立ちがクリーミーになるんだとか。



店内には使い手の声を聞き、形や容量を少しずつ変えた器が並ぶ。会津への観光も兼ね、定期的に訪れる客も多いそう。



現代によみがえった窯元 会津慶山焼 やま陶

会津慶山焼の器には、きめ細かく形が崩れにくい、地元・慶山の陶土が使われている。釉薬には木を燃やした灰を主原料とする自然釉を使い、柔らかく深みのある色合いを引き出している。福島県の伝統的工芸品に指定されている。

●会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「あかべえ」約10分の「石山」下車、徒歩1分。9～18時、無休。☎0242・26・2507

がどのように使いこなしていくかも考えているのだ。

一方、市内には戦後途絶えた焼き物文化を再び現代につないだ窯元もある。「慶山焼の始まりは1592年。一度は戦争で途絶えるも、1974年に脱サラした初代である父が、会津本郷焼の窯元の娘である母と共に、地域に残る現物を頼りによみがえらせた」と話すのは「会津慶山焼 やま陶」2代目の曲山輝一さん。土物の良さを現代に伝えるため、伝統色の青みを少し抑え、柔らかな紫を基調とした「灰釉」を生み出した。「器は使われてこそ美しくなります」と言う。

漆器問屋「会津塗伝承館 鈴善」に向かう途中、バスの車窓からは「会津漆器使用」と書かれた飲食店の看板をいくつも見掛けた。観光向けだけでなく、地元の人も日常的に漆器を使って暮らしているということだろう。伝統工芸が生活の中に息づいている瞬間に出くわした気がした。

鈴善では熟練の時絵師・中村光彩さんに絵付けの様子を見せてもらった。手間を惜しまず仕上げた漆は、どんな塗料よりも繊細な線が引けるといって「昔は数百人いた職人が、今では数十人ほどです」。そんな危機感から、同店では2019年に敷地内に会津塗りの技術と魅力を伝える伝承蔵と美術蔵



絵付け体験は、赤べこ、祈願ダルマ、会津切り絵、起き上がり小法師、あかべえ土鈴、会津塗り宝箱、会津塗ペン立て、会津唐人風など、各1300円～(予約不要(団体の場合は要予約))。

絵付け体験を通して、会津の伝統工芸の素晴らしさを後世にも伝えていきたいです

赤べこ絵付け体験を広めた 手作り体験ひろば 番匠

会津を代表する張り子民芸品「赤べこ」の製造元であり、赤べこの絵付け体験ができる施設。2階の工房では一つ一つ手作りで赤べこを作る職人の技を見学できる。1997年には県から福島県伝統的工芸品の指定も受けた。

●会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「あかべえ」約7分の「和田」下車すぐ。9時30分～16時30分(体験は16時までに入館)、無休。☎0242・27・4358

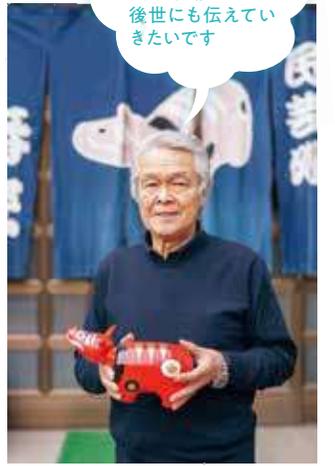
自分好みの色で絵付けができる土鈴のあかべえは、同社が特許を持つ(デザイン提供は会津若松観光ビューロー)。



赤べこ(写真上)と赤べこをモチーフにしたゆるキャラあかべえ(写真右)。



約40年前、あるホテル経営者の「子どもたちに絵を描かせられないかな?」の一言がきっかけで、絵付け体験を開始した。



赤い牛の形をした無病息災を願う会津の郷土玩具「赤べこ」。今、手張りの赤べこを作る工房は、会津若松市内でたったの2軒。そのうちの1軒が「手作り体験ひろば 番匠」だ。「張り子は、まず和紙をお湯でもんで、木型に張り重ね、乾かし、色を重ねて。一つ仕上げるのに10日はかかる」と須藤繁雄社長。「機械を使えば、夜寝てる間に100個作れる。でもそれは『張り子』ではないんだ」。少しずつ形が違ってくるには、職人の手でしか出せない味わいがある。そんな須藤社長が最近力を入れているのが、土鈴のあかべえの絵付け。張り子の赤べこは赤一色だが、土鈴のあかべえは、ピンクや黄色など自由に絵付けできるようにしたのだ。その結果、同店は年間約2万人が訪れる人気施設となった。伝統を重んじながらも、現代のスタイルや感性に応えた見事な事例といえる。

次は中心街から少し離れて、300年近い歴史を持つ会津本郷焼の老舗窯元「宗像窯」へ。8代目宗像利浩さんと9代目利訓さん親子が、地元の陶土や自然灰の釉薬などの素材を使い、普段使いもできる芸術的な器を作り続けている。「大事に長く使うことで、器の色や風合いが変わっていくのも楽しみの一つ」と利訓さん。作り手が一方的に器を差し出すのではなく、使い手

テーブルに遊び心あふれる漆器を提案

福西惣兵衛商店

1919年創業の老舗製造問屋。守るべき伝統、ワンランク上のモダン、そして旅の思い出にぴったりの手土産。3つの柱を軸に、現代の暮らしに寄り添う漆器を提案している。蔵を改装した2階のギャラリーでは、蔵出しの希少な漆器や輸出品も展示。自由に見学できる。

●会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「ハイカラさん」約4分の「七日町白木屋前」下車すぐ。9時30分～17時30分、臨時休あり。☎0242・27・0845

日々の暮らしがちょっと楽しくなる器

会津のうつわ 工房鈴蘭

ガラスに漆を塗装する独自技術を見いだし「漆器＝使いづらい・高い・年配向け」のイメージを覆す商品作りを追求。漆の伝統色の赤黒にこだわらず、客の要望を取り入れ、明るい色やキラキラ感といった自由なデザインの器を展開する。

●会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「ハイカラさん」約9分の「七日町駅前」下車、徒歩1分。12時30分～17時(土・日・祝は11～17時)、月休。☎0242・85・6654



上/人気の白とレーヴブルーのデザートカップ。レーヴ(reve)とはフランス語で「夢」を意味する。左/常時、数百点の商品を陳列し、産地の老舗問屋ならではの豊富な品ぞろえでファンも多い。古典からモダンまで幅広い商品を扱う。

蔵出しの掘り出し物や特価品なども多数ご用意してお待ちしています!



絵柄に沿って開けた窓から飲み物がちらりととぞく。使うたびに違った表情が楽しめる。

家族みんなでアイデアを出し合い自由な発想でものづくりに励んでいます



2010年に会津若松市内に直営店をオープン。大人気のサークルシリーズをはじめ、おしゃれな商品がそろそろ。

中心街から鶴ヶ城方面に向かうと、会津塗りの表彰盾を提案した漆器問屋「関美工堂ヒューマンハブ天寧寺倉庫」が見えてくる。漆器とアウトドアを融合させたブランド「NODATA」などのキャンブリアを展開。手触りの良さ、軽さ、そして抗菌性と、漆器ならではの機能がアウトドアシーンで新たな命を得た。「漆器は木地師、塗師、蒔絵師など多くの人が関わって完成します。この分業の美しさを伝えていきたいです」と代表夫人の関千尋さんは笑顔を見せる。

この日、最後に訪れたのは、会津木綿の店。現在、織元は会津地方でわずか3軒。そのうちの1軒が「山田木綿織元」だ。工場に近づくとガシャン、ガシャンと規則正しい音が耳に響く。大正時代に作られた豊田式自動織機が実際に動いている姿を目にできる場所は全国でも数少ない。

「会津塗りと会津木綿は、豊臣秀吉の時代に会津藩主となった蒲生氏郷が旧領から技術者を招き、技術を伝授したことが始まりとされています。国替えなどで新しい領主が来ると、一緒に新たな技法も伝わってきたようですが、それらをうまく吸収し、会津木綿は独自の進化を遂げました」と話すのはデザイン担当の庵原敦子さん。色も豊富で、厚みがありながらも通気性に

会津塗りと共に歩む漆器問屋

会津塗伝承館 鈴善

1832年(天保3)創業の老舗漆器問屋。後世に会津塗りを伝えていくため、鈴善漆器店蔵建造物群を「会津塗伝承館」として一般公開している。「漆器蔵」「会津塗伝承蔵」「美術蔵」「体験蔵」「蔵の茶屋(現在、休業中)」に分かれており、テーマごとに会津漆器産業の歴史や道具の展示、職人の技術などを見学できる。

●会津バス「若松駅前」から神明通り方面行き約4分の「郵便局前」下車、徒歩1分。9時～17時30分(入館は16時30分まで)、無休。☎0242・22・0680



右/館内の「体験蔵」では、会津漆器の蒔絵体験が可能。好きな漆器を選び、指導員の丁寧なサポートを受けながら自由に蒔絵を描くことができる。店内で購入した商品に絵付けも可。体験料は銘々皿3500円、姫手鏡3500円、木製漆塗汁椀5000円、ぐいのみ5000円。左/全商品の8割ほどがオリジナル商品。会津塗りの名刺入れやブックホルダーなど、よそでは見掛けない商品をそろえている。体験は要予約。



会津塗りならではの風合いや艶やかな彩りによって、普段使いの日用品も趣豊かになります



上/ある外国人が古い日本の船隻を紅に塗って使っていたことをヒントに商品化した南蛮タンスは30年続くロングセラー商品。左/蒔絵とは漆で絵や模様を描いた表面に、金や銀などの金属粉を蒔く日本独自の伝統技法だ。

を誕生させた。「もっと気軽に会津塗りの文化に触れて欲しい」。そんな職人たちの願いが込められている。

「福西惣兵衛商店」は、伝統を踏襲しながら、蔵を改装したギャラリーを併設する漆器問屋として、会津塗りの新しい文化を発信している。定番の赤や黒だけでなく、ピンクやブルーといった色を取り入れているのも同店の特徴。季節や気分に合わせて色を選べるデザインのカップは、若い世代や女性に好評だ。「塗り物が一つあるだけで、テーブルの雰囲気が変わります」と専務の福西敦子さん。他にも鍵盤を模したプレートやワンランク上のテーブルコーディネートなどを提案する「モダンシリーズ」など、現代の暮らしに寄り添う漆器を提案し続けている。

会津塗りの職人が立ち上げた「会津のうつわ 工房鈴蘭」も会津の伝統工芸に新しい風を吹き込んでいる店の一つ。家族で営む小さな器の店で、漆をガラスに塗る独自の技法が特徴だ。ガラスの外側だけに塗装や絵付けを施すことで、内側はそのまま、外側には色や模様が浮かび上がる。表面のザラリとした質感は傷や汚れが目立ちにくく、結露も防ぐ実用性を備える。「伝統を大切にしながらも、時代に合った、毎日気軽に使っていただけのもので作りたいです」と鈴木あゆみ店長。

右/敷地内の工場ではおよそ100年にわたって現役で動く豊田式自動織機の稼働の様子を見学できる。下/季節を意識したカラフルな色合いの製品は外国人にも人気が高い。



伝統工芸を身近に感じてほしいので、比較的リーズナブルな値段で買える小物類を充実させています



100年織り続ける伝統木綿

山田木綿織元

1905年創業の会津木綿の織り元。直営店舗には、メイン商品の反物(布地)をはじめ、洋服やスマホケース、扇子、ボールペンなど、暮らしに寄り添う雑貨が並ぶ。敷地内には工場があり、平日は織機が稼働する様子を間近で見学できる。織機は止まるが土・日・祝も見学はできる。

●会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「ハイカラさん」約2分の「町方伝承館前」下車、徒歩4分。10~16時(工場は8時30分~16時20分)。無休(工場は土・日・祝休)。☎0242・22・1632



受け継がれる

伝統工芸の彩りを

普段の時間に、

これまで漆器に触れる機会がなかった層からも高く評価してもらい、会津漆の可能性を感じています



会津の職人たちとのつながりで作ったアウトドアギア。コンセプトは「野に漆」。

優れた会津木綿の生地は、オールシーズン快適に着られるとファンも多い。節のある横糸を使うことで自然な筋模様とふっくらとした質感が生まれる。同店では、修理と工夫を繰り返しながら、百年選手の織機が今日も木綿地を織っている。

会津の伝統工芸には驚くほどの柔軟さと、誰をも受け入れてくれるような懐の深さがあった。旅の思い出としてだけでなく、日々の暮らしの中に伝統工芸品を取り入れてみたい、そんな気持ちに駆られた散歩となった。

伝統技術を次世代へつなぐ

関美工堂 ヒューマンハブ天寧寺倉庫

会津塗り、会津木綿、無農薬食材を提供するストア、自家焙煎カフェなど地域文化の本質を未来志向で発信するフレッシュな複合施設。若手漆器職人のスタートアップシェア工房、食文化を育てるシェアキッチンもあり、多様な人々の交流が育まれている。

●会津バス「若松駅前」からまちなか周遊バス「あかべ」約10分の「奴郎ヶ前」下車、徒歩2分。10~18時(カフェ11~17時)、無休。☎0242・27・3200



築50年余の倉庫をリノベーションした複合施設「ヒューマンハブ天寧寺倉庫」は2022年のオープン。



乗るだけでも
面白い!

みちのり のりもの図鑑

Vehicle
picture book
FILE.06

5000系モノレール●湘南モノレール



①「湘南江の島駅」に近づくとき現れる青空と水平線のコントラストに感動。②指令乗務区長の青木昇さん。③社屋すぐ側に展示されている500形車両のカットモデル。

爽快に空を駆け抜ける 懸垂式のモノレール

湘南を代表する観光地、江の島へ向かう交通手段として便利で、「大船駅」と「湘南江の島駅」間を片道約14分で結ぶ湘南モノレール。日本に2社のみという懸垂式を採用し、優雅な空中散歩を楽しませてくれる。3両1編成で構成され、1編成の乗車定員は最大496人。7色の車体カラーリングを施した全7編成を擁し、通常時は5編成が運行している。

30年近く運行してきた旧車両の5000形が、2016年6月にラストランを迎え引退。現在は、5000系車両へ完全移行している。操作系の改良やスムーズなモーターの搭載、ワイドウィンドウやバリアフリー対応の機能などを備え、格段に快適性がアップしたが、指令乗務区長の青木昇さんは「湘南モノレールといえは5000形だと答える地元利用客は今でも多いですね」と、目を細めて旧車両を懐かしむ。

鎌倉の豊かな自然や 江の島巡りを満喫

江の島を訪れるだけではなく、1日フリーきっぷ(大人610円)を利用して、ぜひ途中下車してみよう。QRデジタルチケットで購入すれば、スマートに改札を通過できるのでおすすめです。「湘南町屋駅」で降りたら、鎌倉市の中心部にあり多種多様な

最高速度は時速75kmで、急勾配やカーブ、隧道などが連続する複雑な路線を走行。車窓からの景観も、閑静な住宅街や緑豊かな森林、美しい水平線など見どころは多い。青木さんは「天気の良い日は車窓から富士山や江の島の海を眺めることができますし、日暮れ以降の夜景も美しく、始発から終電まで多様な景色を楽しめるのが魅力です。私も長年乗車していますが、まったく飽きることはありません」と話す。



© 公益社団法人藤沢市観光協会
湘南のシンボル・江の島と交通の要衝・大船を結ぶ湘南モノレール。

動植物が息づく鎌倉中央公園でハイキングを。「西鎌倉駅」で下車すれば、腰越地域の都市林・鎌倉広町緑地で自然に親しむひと時が過ごせるだろう。もちろん、江の島にもお楽しみがいっ



ぱい。「新江ノ島水族館」や「江の島シーキャンドル」など定番の人気スポットはもちろん、「江の島弁財天仲見世通り」でのグルメやお土産選びも見逃せない。運転指令業務の責任者として日々の業務に当たる青木さんは「江の島観光でのご利用や地域住民の大切な生活路線として安全・安心で快適な運行を心掛けながら、より一層のサービス向上を図ってまいります」と、胸を張って語ってくれた。

Vehicle picture book FILE.06

盛岡散策絵地図

三つの清流が交わる街は河川敷に遊歩道が多く、水の都と呼ばれることも。市街のあちこちに趣のある史跡や古い建築物が散在し、散歩で疲れたら水辺のベンチで憩いましょう。



岩手銀行赤レンガ館
 入場無料で1階ホールなどが見学できる(一部有料)。1911年に建てられ2012年まで岩手銀行として使われた。

盛岡八幡宮
 盛岡の総鎮守で、1997年に再建された社は、朱塗りの柱と金色の飾りが美しい。流鏝馬(やぶさめ)などの神事が行われる例祭が有名。

盛岡神子田朝市

もりおか町家物語館

鉦屋町周辺は町屋が立ち並びます。

盛岡城跡公園
 盛岡市街の中心に位置する。建物は残っていないが、修復された石垣は壮大です。

新渡戸稲造生誕の地

大慈清水
 昭和初期からある用水。木造の切妻屋根の下に一番井戸・飲料水、二番井戸・米とぎ場から四番井戸まで階段状に用水が仕切られています。

盛岡さんさ踊り

チャグチャグ馬コ



旧盛岡貯蓄銀行

もりおか啄木・賢治青春館

紺屋町番屋
 1階は現在カフェになっています。

BOOKNERD
 盛岡の独立書店。喫茶スペースもあります。

岩手県公会堂

櫻山神社
 社殿の背後に巨大な鳥帽子(えびし)岩があります。

原敬別邸遺構
 七十七銀行の裏手に邸宅のレンガの一部が残っています。奥には圓通神社さん。

いーはとーぶ
 アベニュー材木町
 通りには宮沢賢治にちなんだ銅像やモニュメントが多い。

光原社
 童話集「注文の多い料理店」を出版したことで知られています。現在は民芸店や史料室、喫茶などに。中の小道は趣があります。



山地酪農牛乳プリン
 (ウイスキープリン)
 350円

ラッシー
 (苺ソース入り)
 600円

ラッシーも山地酪農牛乳、そして岩泉ヨーグルト使用。

「ごちそう
 Palette」

No.26 盛岡市【岩手県】

吉田いつし =取材・文・イラスト

今、旬な街として人気の盛岡市
 華やぐ風景を散策し遊びましょう

「草のゆかり」



キーマカレーとお惣菜プレート
 1600円
 優しい味の決め手は「白豚」なのだそう。

ジャガイモのポタージュ付き



店主 中村さん



川沿いにある一軒家のカレー専門店。「キーマカレーとお惣菜プレート」はミンチほどではないゴロッとしたお肉が入り、しっかりとスパイスなのにふわりと優しい味わい。プレートに載る惣菜も種類豊富でジュシー。さらに苺ソース入りのラッシーや華やかな香りのウイスキープリンもおすすめ。爽やかなたずまいと、独創的ながら親しみやすい丁寧な料理に出合えます。

岩手県北バス「盛岡駅前(東口6番のりば)」から「盛岡バスセンター」行き約15分の終点下車、徒歩8分。11時30分～16時、日・月休。
 ☎019-656-0210

レアチーズ
ケーキ
800円

「紅茶の店しゅん」

風格ある店内でゆったりと過ごせる紅茶専門店。「ロシアンティー」は店名物の自家製マーマレード付き。甘夏のマーマレードは苦みと酸味がほどよいバランスです。紅茶は「ディンブラ」という品種でなじみ深い満足度の高い香り味わい。新作の「レアチーズケーキ」は上に細かく砕いたピスタチオと黒こしょう、そして甘夏ソース。ワインにも合う大人の味わいです。



ロシアン
ティー
880円



スタッフ
松本さん

茶園から直接買い付けた看板のダージリンをはじめ、さまざまな茶葉が楽しめます。

店内ではゆったりと読書する人も。



岩手県北バス「盛岡駅前(東口6番のりば)」から「盛岡バスセンター」行き約15分の終点下車、徒歩3分。11~18時、火・水休。☎019・623・3036

「Bon courage」

地元で人気のカジュアルなビストロ。おしゃれな内装と造りで、窓からのロケーションがすてきです。ランチセットがお手頃な価格でいただけ、またワインの種類も豊富です。1階のカウンターでグラスワインにアラカルトを一品つまむ、という楽しみ方もアリです。



●盛岡までは岩手県北バスの高速バスの利用が便利。
○岩手県北バス☎019・641・1212

岩手県北バス「盛岡駅前(東口6番のりば)」から「盛岡バスセンター」行き約4分の「柳新道」下車、徒歩3分。11時30分~15時・18~23時、水休。☎019・681・3434



ランチコース
2990円

オードブル、季節のスープ、メイン(肉か魚)、パン、デザート、コーヒーか紅茶など。

スタッフ
藤館さん
よじて



作家の名前を知らなくても見に行くと損はない、古くて新しいアートに出会えます。

盛岡神子田朝市

旬の青果、生花、惣菜、飲食店などから成り、中には美容室もあります。ここで食べられる「ひつまみ汁」は特におすすめ。すいとんがもちもちで、具の油揚げやシイタケの香ばしさは他では味わえないもの。自由売場には若い人が営む中国茶の店もあつたりします。朝6時半から7時半に訪れるのがおすすめ。



ひつまみ汁

岩手県北バス「盛岡駅前(東口6番のりば)」から「盛岡バスセンター」行き約15分の終点下車、徒歩22分。または盛岡駅から車で約12分。5~8時ごろ(延長あり)、月休。

「よすがや」
の中国茶



岩手県北バス「盛岡駅西口(25番のりば)」から「イオンモール盛岡南」行き約3分の「杜の道北」下車、徒歩13分。9時30分~最終入館17時30分、月休。☎019・658・1711

南昌荘

1885年に建てられた古い木造建築ながら美しく可憐。特に板張りの大広間の景観が素晴らしい。見どころがコンパクトに詰まっていて、長く滞在しても飽きずに、また癒やされる施設です。抹茶には地元の和菓子も付きます。



岩手県北バス「盛岡駅前(東口6番のりば)」から「盛岡バスセンター」行き約4分の「柳新道」下車、徒歩13分。10~17時、月・火休。入園料400円。☎019・604・6633



抹茶セット 500円

一茶寮

1782年(天明2)に建てられ1978年から喫茶店に。1階が画廊で靴を脱いで2階に上がると、店内はいにしへの大学の寮や70年代の学生街の喫茶店にタイムスリップしたかのよう。名物の「ふかしパンセット」のパンはふかしてあるパン独特の香り。セットの自家製コーンポタージュスープはベーコン、ニンジン、ブロッコリーなど具だくさんです。

岩手県北バス「盛岡駅前(東口6番のりば)」から「盛岡バスセンター」行き約8分の「県庁・市役所前」下車、徒歩8分。10~19時、日休。☎019・654・4965



ふかしパンセット
680円

ふかしてあるので当然、肉まんと同様に下が蒸れたり、紙がくっつかないように注意して食べましょう。



店主
村井さん

お店は「旧井弥商店」の脇の石畳を入った所。

恋する♡当地民芸

篠工芸

【栃木県那須町／那須町工芸振興会】

伝統の技が息付く各地の手工芸品の中でも、心ときめく魅力に満ちた逸品をご紹介します。
今回は、那須町の工芸品「那須の篠工芸」。素朴な用の美が心を豊かにしてくれる。



那須の篠工芸
いずれも3500円

写真手前から時計回りに「うどん揚げざる」「メカイざる」「味噌濾（こ）ざる」。どれも農林業が盛んな高原地域の生活に則した民具で、シノダケならではの軽さと手触りの良さ、何年も使い続けられる耐久性を兼ね備える。



10～3月に刈り取ったシノダケを日当たりの良い場所で乾燥させ、4つ割りにして水に浸し、皮を剥いで「ヒネ」にする。



シノダケを水に浸して軟らかくしてから、堅く編み込んでいく。実演を交えて指導している写真の講師が手掛けている「米研ぎざる」は、編み目を丁寧にそろえながら、ゆがみなく筒状に成形していく高い技術力が求められる。



ざるの底に、安定して置けるよう4つの“脚”を付ける。これも難度の高いポイント。



月2回の育成会では、講師の指導を受けながら基本の7品目を製作。しなやかな柔らかさを持ち比較的加工が容易なシノダケといえど、丈夫なざるを作るためには相応の力が求められ、手だけでなく足も使って作業する。那須の篠工芸の特徴である水切りの良さも追求する。

人々の暮らしと共に培われた
素朴で質実剛健の編み目模様

松崎さんが試作した篠工芸の中着バッグ。伝統のスタイルだけでなく、現代生活にマッチした新製品の開発にも意欲的だ。



「米研ぎざる」の“縁巻き”に取り組む受講生。誰もが言葉少なに、真剣なまなざしで取り組んでいる姿が印象的だった。



「友愛の森工芸館」の店内には、篠工芸はもちろん、陶芸品やガラス工芸、串人形、草木染めといった地元の工芸品が数多く並び、職人の実演もある。

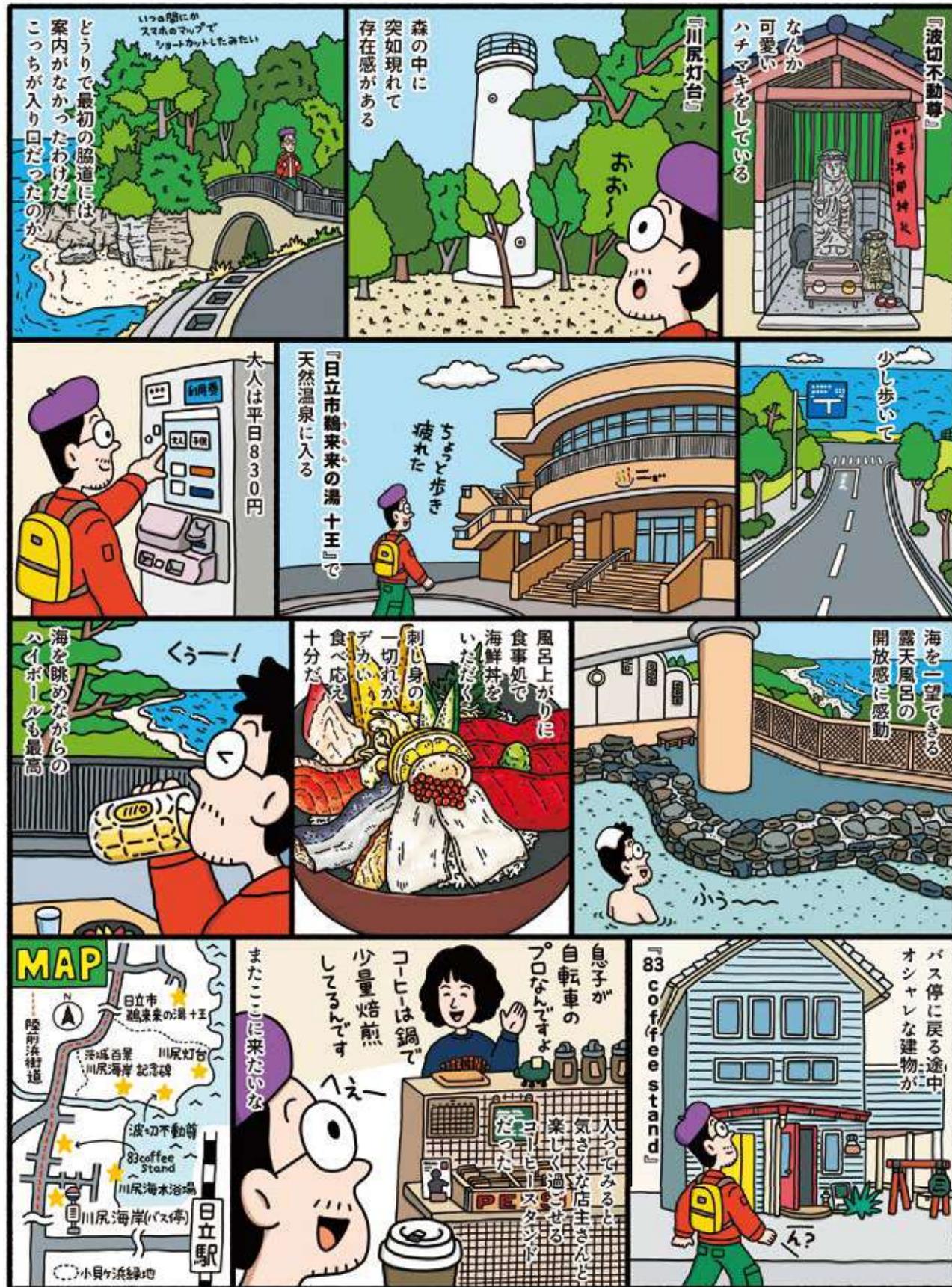


「道の駅 那須高原友愛の森工芸館」で販売。「友愛の森工芸館」へは、関東自動車「那須塩原駅」または「黒磯駅西口」から「那須ロープウェイ」行きなど約14分の「友愛の森」下車、徒歩2分。9～16時(11～2月は15時まで)、12～2月の木・年末年始休。☎0287-78-1185

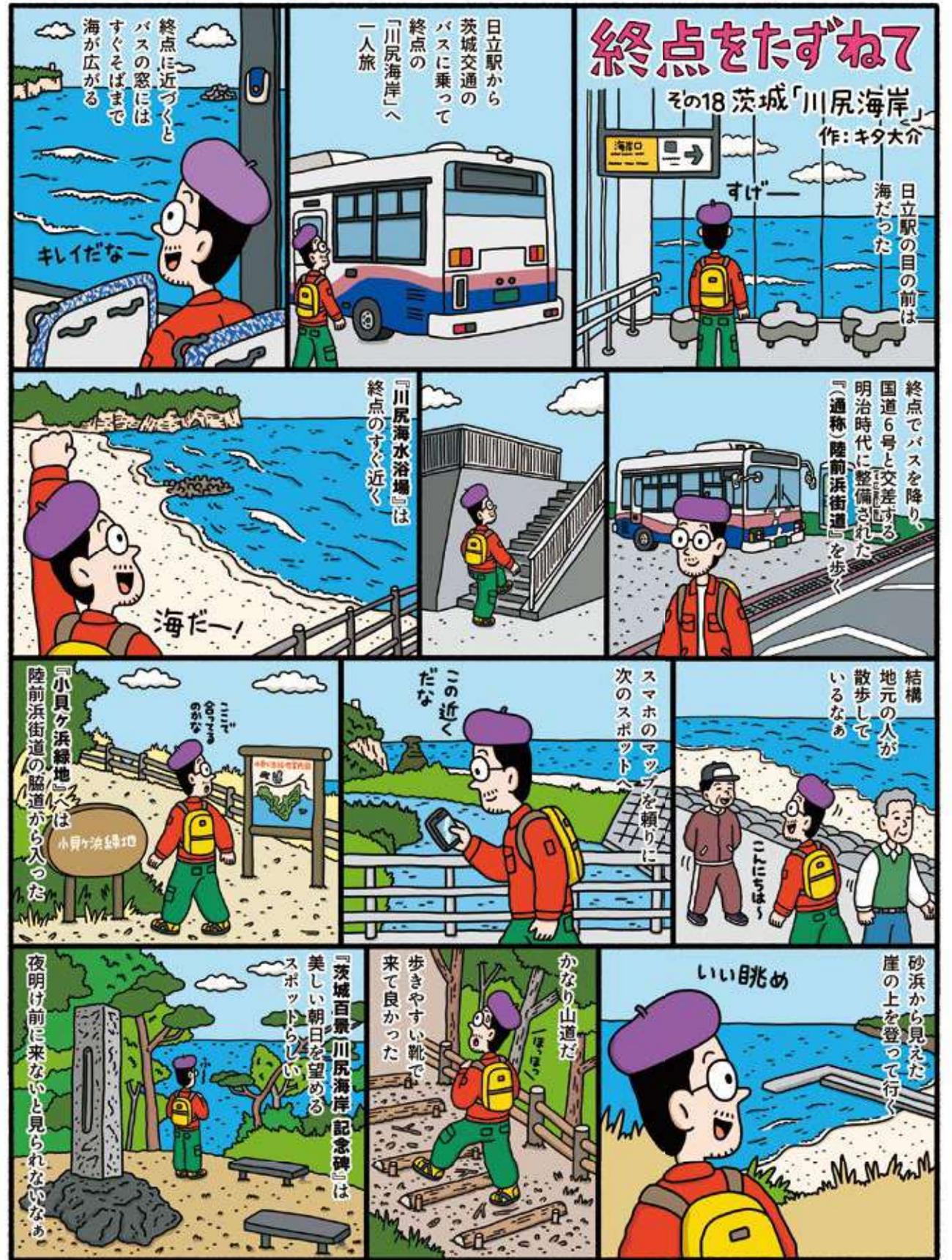
夏でも冷涼な那須高原には昔からシノダケが広く自生している。この地域では江戸時代から農閑期の収入源として篠工芸が作られてきた。近年は作り手が減り、栃木県認定の伝統工芸士も高齢化。そこで、那須町工芸振興会は後継者育成のため、技術の習得を希望する受講生を募り、12年前に育成会を始めた。今は「友愛の森工芸館」で月2回のペースで講習を行っている。

振興会では、篠工芸の魅力発信にも力を注ぐ。「ホテル東日本宇都宮」の日本料理店で「うどん揚げざる」が採用され、観光客に喜ばれている。地元の小学校在「那須町を世界に発信しよう」というテーマで取り組んでいる総合学習の時間に篠工芸を体験してもらった後、自分たちで材料を調達してコースターを編んだというから、将来は明るい。

振興会篠部の部長を務める松崎げ子さんは「那須の篠工芸は目の前にあるだけでほっと心を和ませてくれる素朴さが魅力です。本来の用途にこだわらず、それぞれの使い方で見ても「それなら」と語ってくれた。

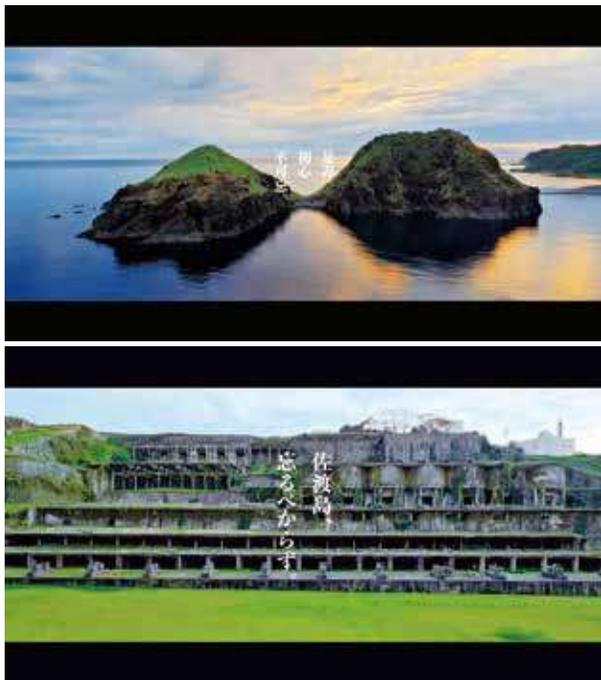


小貝ヶ浜緑地●「川尻海岸」から徒歩18分。 日立市鶴来の湯 十王●「川尻海岸」から徒歩40分、または「小貝浜入口」から徒歩21分。10～20時最終受付、火休。
☎0294-39-1126。平日830円(満65歳以上600円)、16時以降520円。 83 coffee stand●「川尻海岸」から徒歩4分。9時30分～17時、木・金休。



「川尻海岸」へは、茨城交通「日立駅中央口」から約35分。往復1日9本(土・日・祝は4本)。
陸前浜街道●「川尻海岸」から下車すぐ。 川尻海水浴場●「川尻海岸」から徒歩4分。 茨城百景 川尻海岸 記念碑●「川尻海岸」から徒歩15分。

佐渡汽船



「佐渡島、忘るべからず」キャンペーン

昨年、世界文化遺産に登録された佐渡島。佐渡の魅力は、他では見られない自然景観や街並み、能や鬼太鼓といった文化・芸能、特筆すべき海鮮や食材とそれに魅せられた料理などなど。一度来れば二度、三度訪れたいくなる、そんな佐渡は“日本の縮図”ともいわれます。

佐渡汽船では、知られざる佐渡島の魅力を美しい映像とともにお届けするテレビコマーシャルを作りました。キャッチコピーの「佐渡島、忘るべからず」は、能の大成者であり晩年を佐渡で暮らした世阿弥が著書『花鏡』の中で記した「初心忘るべからず」に由来しています。

また、佐渡汽船だけでなく、JR東日本、JALを含めた陸海空の交通3社、佐渡市・新潟県とも連携し、官民一体となって盛り上げていきます。

●テレビCMはこちら

<https://sadotimes.sadokisen.co.jp/tvcm/>



読者 PRESENT

P38・39でご紹介した商品をプレゼント！ 編集部セレクトの商品に応募してみませんか？



篠芸（うどん揚げざる・メカイざる・味噌漬しざる）

各1名さま

那須町の道の駅 那須高原友愛の森芸館で販売されている「篠芸」。詳細はP38・39でチェック！

●応募要項

応募締切：2025年8月31日（日）

ハガキに 1 お名前（ふりがな） 2 年齢 3 性別
4 郵便番号とご住所 5 電話番号 6 プレゼント名
7 右のアンケートの回答を明記の上、郵送してください。

●送り先

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-11-7F
（株）交通新聞社 コミュニケーションデザイン事業部
「みちのり2025年夏号」係



スマートフォン、タブレットからの
応募はこちらから

アンケート

みちのり2025年夏号について

- A 一番面白かった記事、コーナーは？
- B みちのリエリアで、おすすめの花の名所を教えてください。また、アンケートの内容は冊子制作の参考にさせていただきます。

今回の高速バス・船のご利用について

- C 利用路線 D 利用用途 E 同行者数
- F みちのりグループの高速バス・船利用頻度
- G 高速バス・船を使用する際に見る情報源は
- H 車内のフリーWi-Fiについて
- I 導入してほしいサービスや、新しい路線など
- J ご意見やご要望

アンケートにお答えいただいた方全員に
「MEXオリジナルメモ」をプレゼント！

※こちらの画像はイメージです。



